

幼児教育におけるオペレッタの教育的価値

～藤田妙子の思想とその生涯～

岩井 真澄 (東京家政大学大学院生) *

1. 目的

藤田の幼児教育におけるオペレッタには、自身の受けてきた教育や経験が色濃く表れており、その中には、子どもの自己肯定感の向上、のびのびと表現する力の獲得、集団生活における社会性の涵養など、幼児期における重要な育ちがあることが示唆された。(岩井、2016)

本研究では、藤田と最も身近な立場でありながら、幼児教育の道とともに歩んだ人物に、ヒアリングをすることで、藤田の生い立ち、教育観、芸術観をさらに深く掘り下げ、オペレッタに込められた教育的意味、教育的価値を明らかにすることを目的とする。

2. 方法

調査方法：藤田妙子の創設園世田谷区私立Y幼稚園の園長、副園長、音楽主任、保育主任に対し半構造化インタビューを実施。

調査日時：園長/2016年5月19日10時～11時。
保育主任/2016年6月24日17時半～19時半。音楽主任/2016年10月11日11時～12時。副園長/2016年10月11日13時半～14時半。全て世田谷区私立Y幼稚園にて。*インタビューの内容は、対象者の同意を得た上でICレコーダーで録音する。
分析方法：インタビュー後、逐語録を作成し、考察する。

3. 結果と考察

インタビューから得られた内容を以下の4つのカテゴリーに分類することで、藤田の思想とその生涯について明示し、幼児教育におけるオペレッタの教育的価値を考察したい。

(1) 人間像

藤田は常に「自分がある」「自分を持っている」かどうかに関心を置いた。多趣味で、興味を持ったことには何にでも挑戦し、流行に敏感でユーモラスな女性であった。生涯を通して、自分の感性に響いたものは受け入れ、自身の血となり肉となった。「自分がある」ことにこだわる藤田の中に「他から影響を受けた」という捉え方はなく、あくまで、経験した時点で、自分のものとして吸収し、それを自身で耕していくという生き方であった。

(2) 家庭環境

藤田は作曲家である父弘田龍太郎から「ライバル視されていた」と話していたという。父は決して藤田を音楽家に育てようとしていたわけではなかったが、父の稽古はいつもとても厳しかった。若く父になった弘田にとって長女である藤田は、娘というより戦友のようだったのかもしれない。年の近い妹が二人いたこともあり、藤田は両親から放任されていたと感じることも多くあっ

たようだ。

藤田には4人の子どもがおり、その末娘を早くに亡くしている。戦後の食糧難で栄養を十分に取れなかったことが、その頃お腹にいた末娘へ影響したのではないかと生涯悔やむこととなる。

(3) 教育観

自己をありのまま表現する幼い子どもの姿は人間の根本であり、理想の姿であると捉えた藤田は、その姿を持ち続けられるようお願い、自己表現を素直にできる子どもを育てる教育をおこなった。純粋で美しいものという点で、子どもと芸術に共通点を見出し、それを尊んだ。

(4) 芸術観

芸術観には藤田の生い立ちや経験が色濃く表れている。本物志向の教育は音楽家に育てられた藤田の生い立ちが、また自由表現を重視した教育は海外での経験が生きている。この二つは藤田の幼児教育の柱でもあり、それらはバランスよく教育に取り入れられた。

3. まとめ

長女として育ち、父親から対等な扱いを受けてきた自身の経験は「子どもが子どもらしくいること」を追求したことの起点ではないかと考えられる。愛娘の死は戦後の食糧難で自分の思うように生きられなかったことが原因と悔やみ、これもまた藤田が「自分らしくいること」へのこだわりにつながっていると言えるのではないかと。

幼稚園の子どもとの関わりの中で、藤田は自身が理想とする人間像と出会った。何の気負いもなく自分が自分らしくいられる子どもの姿に藤田は自身の過去を無意識に重ねたのではないかと。

藤田の主唱するオペレッタは、自身の自己実現の場であったと同時に、純粋な子どもの存在を確保する場として確立していった。そんな藤田が目指した教育こそ、「自分が自分らしくあること」つまり人間教育であった。

幼稚園教育要領(文部科学省、2008)に「幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、幼児の主體的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。」とあるように、周囲からありのままの存在を認められる中で、他からの重圧を感じることなく、自己を表現することは幼児期に重要な体験と言える。

子どもの遊ぶ姿をもとに作られた藤田のオペレッタは、子どもが自然体で演じることができ、子どもの姿をそのまま投影できる教育材料として、今日の幼児教育において非常に有用であると考える。

※人間生活学総合研究科修士課程